

仙台市は温泉ヘルパーを派遣

お盆の季節が目前に迫り 内在住の要支援2、要介護3の認定を受けている60歳以上の高齢者が、ヘルパーを派遣して欲しいという人も多い。以上が対象で、ホームヘルパーが一緒に温泉へ行くというサービスなのです。

上原喜光



親不孝だと嘆いていませんか。いえいえ、遠距離の老親の介護なんて簡単です。駅から自宅へ帰る際、携帯電話で「今日、何食べたいか?」。これだけでもいいのです。

たまには田舎の両親を旅行に連れて行ってあげたいが、母親は足が悪いし、温泉なんて無理とあきらめていませんか。

例えば、仙台市には「温泉宿泊ホームヘルパー派遣制度」(高齢

1億人介護のための

成している。ワンちゃん家族。誰も税金の使い方(長) 一方、先日訪ねた北海道の某市はちよつと違いました。典型的な炭鉱町で、高齢化率は36・8%と、夕張市の43・2%に匹敵します。そんな過疎の市で民間会社がデイサービスセンターをつくらうとしたら、猛反対されてしまった。反対しているのは、市の職員たちだそう。なにしろ、この財政危機の自治体に天

下りの老人施設がすっかり4つもあるのです。確かに介護には莫大な財源が必要ですが、先に手をつけるべきは別のところにあるかもしれません。

企画課8022・214・てワンちゃん家族。誰も税金の使い方(長) (全国介護者支援協議会